

13. スマートフォンの使用

子供は、どのような利用をしていますか？

- | | |
|--|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 電話 | <input type="checkbox"/> メール |
| <input type="checkbox"/> 写真撮影 | <input type="checkbox"/> ゲーム |
| <input type="checkbox"/> チャットや掲示板 | <input type="checkbox"/> 交流サイト |
| <input type="checkbox"/> SNS (ソーシャル・ネットワーキング・サービス) | |
| <input type="checkbox"/> ゲームやアプリでの課金 | <input type="checkbox"/> わからない |

スマートフォンは、利便性の高い道具ですが、その使用には、大きな問題も存在しています。子供と一緒に考えてみましょう。



保護者がなかなか気づかないことがあります

<自撮りによる画像や動画など>

スマートフォンなどのカメラ機能を使って自分自身を撮影（自撮り）し、その画像や動画を友達に送ることや、多数の閲覧者向けにネット配信・共有することが増えています。自撮りした画像に位置情報（GPS）が入っていたり、自宅などで撮影して、地域を特定しやすい背景や学校の制服が写り込んでいたりしていると、意図せずに個人が特定され、トラブルや事件に巻き込まれる可能性もあります。送ってしまった後に削除したいと思っても、他人の手に渡った画像などは、完全に削除できません。

<コミュニケーションアプリの利用>

無料通話やグループでのメッセージが利用できるコミュニケーションアプリが増えています。複数でのグループ利用ができて便利な反面、ちょっとした誤解などから大きなトラブルに発展する場合があります。IDを取得して掲示板などで交換すると、見知らぬ人との出会いにつながる可能性があるため注意が必要です。

<ネットの長時間利用>

モバイル端末は、いつでもどこでもインターネット利用ができるため、意識せずに長時間利用してしまう人が増えています。

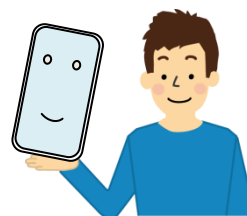
保護者ができる3つのポイント

- ① 被害者にも加害者にもならないように、適切にインターネットを利用させましょう。
- ② 家庭のルールをお子様と一緒に作りましょう。
- ③ フィルタリングを設定しましょう。

コミュニティサイトの利用を通じて被害を受けた青少年のうち、9割以上がフィルタリング未加入です。

家庭のルールの具体例(我が家ではどうかチェックしてみよう！)

- 困った時は、すぐに相談する。
- 友達にメールやメッセージのやり取りを強要しない。
- インターネットを使わない子を仲間外れにしない。
- 利用する場所や時間帯を決める。
- パスワードは保護者が管理する。
- お金がかかる場合は事前に相談する。
- 名前、顔写真、学校名など（個人情報）は書き込まない。
- 他人を誹謗中傷する書き込みをしない。
- 知らない人のメールに返信しない。



「インターネット利用環境整備」(内閣府) (<http://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/index.html>) 掲載リーフレット「インターネットを利用するために保護者ができること」をもとに千葉県教育委員会作成

フィルタリングサービスを利用しましょう。ただし、無線LAN使用時やアプリケーション利用時は、設定の変更等が必要になります。

【スマホのフィルタリングは3種類】

- ①携帯電話会社が提供する回線（電波）のフィルタリング
- ②無線LAN（Wi-Fi）に対するフィルタリング
- ③アプリのフィルタリング

安心ネットづくり促進協議会サイト

「青少年のスマホ利用
のリスクと対策」

